

2008年 4月 の月間予定

日	月	火	水	木	金	土
3/30	31	4/1	2	3	4	5
 春期講習会						
6 中1～中3学判	7 4月新学期 授業スタート	8	9	10	11 einaロンドン ホームページ更新日	12
13	14	15	16	17	18	19
20 小3～小6学判	21 2008年度第1回 漢字検定 申込受付開始	22	23	24	25 einaロンドン ホームページ更新日	26
27	28	29	30	5/1	2	3
4	5	6	7	8	9 einaロンドン ホームページ更新日	10

学習及び進路に関するご質問、ご相談は常時受け付けております。
ご心配な点がございましたら、お気軽に担当教師までご連絡ください。



eina ロンドン
フィンチー教室 TEL 020 8343 0088

einaronndon通信 4月号

einaronndon 5月~6月の予定

みんなむかしは受験生だった....

中2の後半の成績は最悪でした。隣の女の子ばかりを見ていて、全く授業を聞いてなかったのです。しかしある日の授業中に見た黒板にビックリ！書いてあることが全く理解できず、衝撃を受けました。その日、家に帰ってから勉強机を『玄関』に移動させました。それから毎日、自分が納得するまで勉強。成果は徐々に現れ、担任から反対されていた高校への合格を勝ち取ることが出来たのです。家族に笑われた『玄関に勉強机』。今では良い思い出です。(漆畑)

やわらかいあたま



ある馬が脱走しました。この馬は暴れ馬なので直線しか走れません。この馬が9の部屋に分かれている建物に迷い込みました。全ての部屋の人が馬を目撃しました。この馬がすべての部屋を回るには何回曲がることですべての部屋を通るか？

「公立中高一貫校」で広がる中学選びの選択肢

今春の、各地の公立中高一貫校の入学選抜を見ても、受験生・保護者の「期待値」がいかに高いかが見て取れる。多摩地区にも都立中高一貫校の開校となる東京をはじめ、注目校が開校の千葉、初の中等教育学校の開校となる茨城など、公立中高一貫校は大人気になった。東京は、既設の5校でみると、一般枠の志願倍率は平均7.09倍で、07年度よりも下がった(これでも相当高いが...)。安易な気持ちの受験生の減少と、多摩地区の2校に向かった受験生もいたと思われる。

一方、多摩地区の2校は大変な倍率となり、立川国際中等教育学校が、一般枠の志願倍率14.54倍、武蔵高等学校附属中学校が、志願倍率15.61倍ということで、この2校を加えた東京都の7校全体では、平均倍率が9.10倍となり、結果的に新たな受験者を掘り起こして、大変な競争となった。また、今春開校の学校で最大注目株の、県立千葉中学校は、志願倍率が、27.06倍という空前の倍率になったほか、2年目の千葉市立稲毛高校附属中が12.53倍、同じく2年目のさいたま市立浦和高校附属中が14.90倍といった高倍率になった。茨城県のつくば市に開校する並木中等教育学校も、2けたまではいかなかったが7.22倍という倍率で、新設校ゆえの期待度の高さがうかがえる。

さて、2009年度にも、首都圏では満を持して、神奈川県に2校の中等教育学校が開校の予定であり、学校説明会には多くの参加者が集まっているという話などから、来春の志願倍率はかなり高いものになると予想される。そして、群馬県伊勢崎市には市立の四ツ葉学園中等教育学校が開校の予定で、やはりある程度の高倍率にはなるものと予想される。さらにその翌年の話だが、東京ではまた一気に4校の開校予定があり、公立中高一貫校に対する関心は、首都圏全体でまだまだ高い状況が続くだろう。

では、今後、公立中高一貫校受験を考える際には、どんなことを念頭においたらいいのだろうか。公立中高一貫校受験生の保護者の多くは、私立中学受験について最初から頭がないといわれている。確かに、公立中高一貫校の受験生・入学者やその保護者像を取材してみると、公立中高一貫校が第一志望で併願はせず、もしダメなら地域の公立中学に進学するという人が大部分だ。ただ、私立中学との併願(全体の2割程度と推測されている)も拡大しているようで、首都圏私立中学受験への影響は今後も大きくなると思われる。

併願校は、開成や桜蔭といった超難関校から中堅レベルの学校までかなり幅広い。公立中高一貫校の選抜で実施される適性検査問題は、各学校のホームページでも公開されているのでご覧になればお分かりいただけると思うが、かなりハイレベルで、問題量も多い。内容も小学校のテストや私立中学入試のように各教科の内容を直接問うものではなく、教科横断型の問題だ。身近な題材を用いた課題を自分で考えながら、文章などで表現する問題が中心で、総合的な学力・問題解決力をみることに主眼が置かれている。だから、何の準備もせずに「受ければもうけもの」と安易な姿勢で臨んでも、とても合格はおぼつかない問題と考えたほうがよい。まして「宝くじ並み」(と保護者たちがよく口にする)の高倍率である。実際、公立中高一貫校の受験準備を始める時期は、私立受験生にくらべるとかなり遅く、6年生になってからの人が多いのだが、これも前年の調査とくらべると今年は、受験を意識する時期も、受験を決意して実際に準備を始める時期も早まる傾向にあるようだ。中には塾通いをせずに合格した人もみられるが、そのような人は、親が徹底してサポートし、小学校の復習、作文の練習、過去問対策などをしっかりやっている人が多い。一方、大手・中堅塾を中心に、公立一貫校受験対策を行う塾も増えてきているし、公立一貫校受験対策専門の塾も現れ始めている。また、公立中高一貫校用の模試や通信講座なども広がってきている。やはり、公立中高一貫校を受験するにあたっては、学校選びをしっかり行い、公立中高一貫校合格に必要な力をつける準備をしておくことが、絶対に欠かせないといえる。

学力判定テスト時間割

《小3》	9:30~10:40	(算数・国語 各30分)
《小4 2科》	9:30~11:00	(算数・国語 各40分)
《小4 4科》	9:30~12:00	(算数・国語 各40分、理科・社会 各20分)
《小5・小6 2科》	13:30~15:20	(算数・国語 各50分)
《小5・小6 4科》	13:30~16:40	(算数・国語 各50分、理科・社会 各30分)
《中1》	13:30~15:50	(英語・数学・国語 各40分)
《中2・中3》	13:30~16:50	(英語・数学・国語 各60分)

やわらかいあたま ことえ



直線で行くとは意味ですが、部屋を横断してテナメに行っていないか一度も入ってしまっているか確認されているという問題を解くことが大切です。この問題は結構有名だと思えます。今回は同じような問題もあろうかと。

5月		6月	
1	木	1	日
2	金	2	月
3	土	3	火
4	日	4	水
5	月	5	木
6	火	6	金
7	水	7	土
8	木	8	日
9	金	9	月
10	土	10	火
11	日	11	水
12	月	12	木
13	火	13	金
14	水	14	土
15	木	15	日
16	金	16	月
17	土	17	火
18	日	18	水
19	月	19	木
20	火	20	金
21	水	21	土
22	木	22	日
23	金	23	月
24	土	24	火
25	日	25	水
26	月	26	木
27	火	27	金
28	水	28	土
29	木	29	日
30	金	30	月
31	土		

※各種テスト実施日は、日曜日になります。
 ※プレ模試、駿台テストは別途お申し込みが必要です。
 ※各テストの実施日、時間帯は、変更される場合がございますので、ご注意ください。